

# 令和5年度 早良区地域包括ケア推進会議 議事録

- 1 日時 令和5年11月16日(木) 15:00~16:35
- 2 場所 早良市民センター 第1会議室
- 3 出席者 委員(18名中16名出席うち1名代理出席)、関係課等(12名出席)、事務局(8名)、傍聴なし

## 4 会議次第

- |                         |
|-------------------------|
| I 開会                    |
| II 議題                   |
| 1. 早良区における地域包括ケアシステムの推進 |
| 1) 早良区の高齢者の状況           |
| 2) 早良区版地域包括ケアの推進        |
| 2. 令和5年度 地域ケア会議等実施状況    |
| 1) 地域における会議の報告          |
| 2) 専門部会の報告              |
| ①在宅医療・介護部会              |
| ②権利擁護部会                 |
| ③生活支援・介護予防部会            |
| 3. 意見交換                 |
| 4. 次年度の取組予定について         |
| III その他                 |
| IV 閉会                   |

## 5 会議経過

I 開会
【所長】 挨拶
【委員】 自己紹介
II 議題
1. 早良区における地域包括ケアシステムの推進
1) 早良区の高齢者の状況
【事務局】 参考資料4統計資料(別冊)をもとに説明
<意見質問等なし>
2) 早良区版地域包括ケアの推進
【事務局】 資料3~6頁 について説明
<意見質問等なし>
2. 令和5年度 地域ケア会議実施報告
1) 地域における会議の報告
【事務局】 個別支援会議・圏域連携会議 報告
高齢者地域支援会議 報告
<意見質問等なし>
2) 専門部会の報告
【事務局】 在宅医療・介護部会 報告
【事務局】 権利擁護部会 報告
【事務局】 生活支援・介護予防部会 報告
<意見質問等なし>

### 3. 意見交換 テーマ：単身高齢者について

【事務局】 各団体の皆様より単身で暮らす高齢者に関する課題等について、ご意見をいただきたい。

【会長】 65歳以上の高齢者のみの世帯が急増している。2040年には、福岡県の訪問診療患者の診療数は、現在の福岡県全体の病床数に匹敵するほど急増していくと見込まれている。地域に対して、細やかに対応していく地域包括ケアは、区保健福祉センターや各団体の活動にかかっていると考えている。

【委員】 早良区歯科医師会では、5年前から区とともにオーラルフレイル予防事業に取り組んでいる。この事業は、高齢者の集いの場で啓蒙活動とアンケートを実施し、必要な方に受診を促す取組みである。実際に歯科医を受診し検査まで繋がる方は1割程度。診療の中でも、歯科衛生士と協力し一緒に対応している。

口腔に限らず全身状態をみていく必要があり、フレイル予防について各団体と連携を図り取り組んでいる。

【委員】 虐待、DVの対応が増えているが、被害申告がなされないために、捜査に至らないケースも多い。高齢者虐待、ストーカー、DV、児童虐待、障がい者虐待などの事案については、認知した段階で、必ず現場に行き話を聞き、まず被害者の安全確保、安全確認を行っている。また、必要時は継続支援し、安全確認していくことを徹底している。

【委員】 認知症の方の家族から、虐待についての相談を受けたことがある。認知症の方には様々な特性があるため、現場対応される際は、認知症の方やその家族の心情、対応方法について配慮をお願いしたい。また、本人に関わる人たちとのネットワークを広げ見守っていただきたい。

【委員】 坂道が多く交通の便が悪い早良区南部地域においては、高齢者が住み慣れた地域で尊厳を保ち安心して暮らし続けるためには、買い物だけではなく日常的な交通の便を考えることが必要である。家に閉じこもりがちになると、認知症やフレイル状態になるため、保健福祉の観点から交通問題についても検討してほしいと思う。

【委員】 医療の現場では、入院患者の高齢化率も高く、単身高齢者や高齢者のみ世帯の増加を実感している。疾患だけでなく、その方の背景や家族など色々な関係性を掴んだ上で、専門職が連携しながら対応していくことが必要であると思う。

看護職の研修会は、口腔ケアなど高齢者に関するものが増えており、介護予防やリハビリについても行う必要がある。患者は、地域に戻っていく生活者であるという視点を忘れないようにすべきと感じている。

【委員】 『認知症介護家族やすらぎ支援事業』は、家族の不在時に支援員が自宅を訪問し、対象者の見守りや話し相手になる事業である。当事者だけではなく、介護する家族を見守るということも含まれている。第三者が家庭に入ること、家族の人も気持ちが和らぐ。区もこの事業の啓発に力を入れていただきたい。

【委員】 早良区南部地域は、コミュニティバスで高齢者乗車券が使えないため、未使用の方が大勢いる。乗車券の利用ができればよいと思う。携帯アプリでタクシーやバスの手配をすることは、高齢者にはハードルが高いと感じている。

地域役員は高齢化しており、同じ方が複数の役を交代で担っている印象がある。個別避難計画の作成などが求められる中、負担が大きくなることが予想されるため、何

か支援が必要ではないか。

地域包括ケアシステム推進のために、地域で中心となって取り組むことができるネットワークづくりが必要であると感じる。多職種が集う機会を通してチームをつくり、育てていく必要がある。

**【委員代理】** 119番で救急車を要請される件数が多くなっている。搬送される方の約半数が65歳以上の高齢者である。多くは急病だが、救助出動も増えてきている。今後は、安否確認要請も増加すると感じている。

また、昨年火災で亡くなった方の半数が高齢者である。自宅の整理整頓やごみ処理が難しくなり、火の取扱いが上手くできず、火災となるケースが増加傾向にある。

#### 4. 次年度の取組みについて

**【事務局】** 次年度の取組みについて 報告

#### Ⅲ その他

意見 なし

#### Ⅵ 閉会

**【事務局】**